

スウェーデン家具の特徴とその定着の背景

スウェーデン家具研究所長 イレーネ・オール

スウェーデン家具について

スウェーデンの家具の背景と特徴について話をしたいと思います。

森林に恵まれたスウェーデンでは、家具の $\frac{2}{3}$ は木製です。スウェーデンの木材は明るい金髪のような色のマツ、ブナ、カバ、タモなどです。それらは普通、透明な塗装で仕上げられ、自然な木目を生かすことによって、スウェーデン家具独特の上品な雰囲気を醸し出しています。



スウェーデン家具

スウェーデンは人口の少ない国で、約850万人です。スウェーデンの産業は輸出向けです。スウェーデンの家具産業も例外ではなく、製造される家具の半分が輸出向けです。

スウェーデンの家具産業には良い伝統があります。産業革命の前は地元の建具、家具業者が地域や村の特徴のある家具を作っていました。19世紀後半になって、家具に対する需要が増えたため、1,000以上の家具工場・工房ができました。

今日では250工場で当時の3倍以上の生産力があります。現在でも家具の生産は依然として優秀なクラフトマンシップをベースとして生産されていますが、近代化・合理化が進められ、今では大半がコンピュータによる数値制御機械で製造されています。

スウェーデン家具の品質の良さの背景

スウェーデン家具の特徴は、国際的に言いまして、単純、技能熟練、デザインの良さ、機能性などです。つまり、品質の良さが特徴と言うことになります。

では、スウェーデン家具の高品質の背景はどこにあるのでしょうか。これには社会的、技術的、経済的など色々な要素があります。

スウェーデンでは、他の国と同じ様に、第2次世界大戦後、生活水準、社会保障、所得の平均化が進みました。実質所得が多くなりまして、家族は車やテレビ、ステレオ、セカンドハウス、チャーター便など色々なことにお金を使うことが可能となりました。これは家具産業にとってチャンスです。より良い住居、インテリアデザインを自宅、職場、公共の場所に取り入れようという機運が生まれました。

1940年代に壮大な社会的な住計画ができました。普通の人達の住環境水準を高めることを目的として、実態調査が行われました。それによって、キッチンや浴室、ベッドルーム、リビングルームなどのサイズ、インテリアの住宅融資制度による推奨が行われました。また、スウェーデンの工芸デザイン協会が展示会や講習会、講演会を開き、消費者に家の機能、スペースをいかに効率的に使うかを啓蒙しました。当時のスウェーデンのアパートには造りつけの台所やクローゼットがありました。

スウェーデンの家族の50%以上は一戸建てに、それ以外はたいていアパートですが、構成は3DK、あるいはそれ以上の広さです。これが家具の需要を高めています。

また、スウェーデンではセカンドハウスが一般的となっています。たいていの家族はサマーハウスを島とか海とか山とか田舎に持っています。こ



スウェーデンの海辺のセカンドハウス

れによりレジャー用の家具の市場が大きくなって
おります。

スウェーデンは気候の関係で、屋内で過ごす
ことが多く、また、全国的に5週間、あるいはそれ
以上の有給休暇が取れるので、家やセカンドハウ
スで過ごす時間が長くなります。したがって、イン
テリアデザイン、家具に対する興味が高まります
。また、職場の施設、設備を良くしたいという
要求もあります。したがって、機能性の高いエレ
ガントな家具が造られています。

また、高齢層、子供たちの使いやすさや安全
性を配慮した特別の家具がデザインされ、使われ
ております。

新しい流通チャンネル

家具の新しい流通チャンネルとして、I K E A
社の出現があります。この会社は低価格の家具を
通信販売カタログを通して販売しております。ま
た、郊外に大きなスーパーマーケットを設立して
います。家具はそこに陳列されており、自分で選
ぶことができます。消費者はそこで購入し、説明
書にしたがって、自分の家で組み立ます。このア
イデアは非常にうまくいきました。この会社は現
在では世界第1の家具会社となっています。I K
E Aの成功が出発点となり、多くの家具会社がこ
のような方法を取り入れるようになっていきます。
共同組合方式で店舗を構え、事業を行っている
ところもあります。

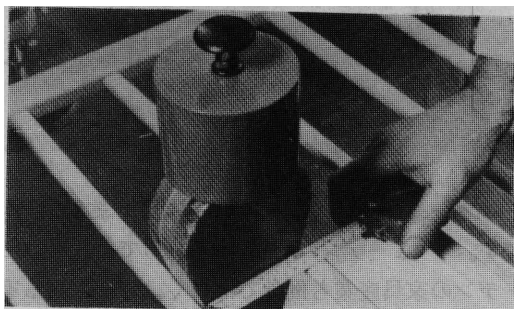
スウェーデン家具研究所について

スウェーデン家具研究所は1967年に設立されま
した。もっとも重要な役割は、最終製品である家
具が目的にあっているか、安全か、耐久性がある
か、すなわち、品質が高いかという事を確かめる
ことにあります。このためには広範囲の知識が必
要で、色々な技術、研究センターと協力して進め
ています。

スウェーデン家具研究所の経費は60%が家具業
界、残り40%はスウェーデン政府から出資されて
います。さらに、コマーシャルベースで試験を請
負ったり、コンサルタントをやるという役割をに
なっています。

次に、私どもの研究所の業務内容について述べ
たいと思います。

- ・最適寸法の決定
作業用・休息用イスそれぞれの最適寸法など
- ・安全性
ベビーベッドの横木の間隔など



ベビーベッドの横木間隔測定

- ・耐久性
イスの耐久磨耗テスト、棚の長期間荷重テスト
など
- ・その他プロジェクト
コンピュータ、ワークステーション用の家具
より安全な小児用家具
ベッドの快適さ
C A Dを用いた家具のデザイン
防火性、難燃性
環境汚染を引き起こさない塗料・塗装
- ・Mobel fakta

次に、私どもの研究所で導入したMobel fakta

という新しい品質表示システムについて述べたいと思います。これは使い勝手、機能性、サイズ、安定性、安全性、耐久性、強度、表面の仕上げ、クラフトマンシップ等についてチェックして、ある一定の基準を満たしていればラベルがはられるシステムです。それぞれの項目について、優、良、可の3段階に分類します。ただし、美的なデザインは査定していません。これは任意の制度ですが、大半の家具がその対象になっています。このシステムはスウェーデンの他に、北欧諸国でも既に導入されており、そのほかに日本、オーストラリア、シンガポールなどでも検討中です。

・ISO

スウェーデンがイニシアチブをとり、国際的な家具のテスト方法を標準化するためにISOを組織しました。国際家具標準化事務局をスウェーデンにおき、議長国を務めてきました。家具は最終的な形でテストされるべきであるとの考え方は他の国々でも採用されています。現在、家具のISOは23ありますが、ほとんどテストの方法についてのものです。その他に作業が進んでいるものが15ほどあります。

スウェーデンの家具デザイナーについて

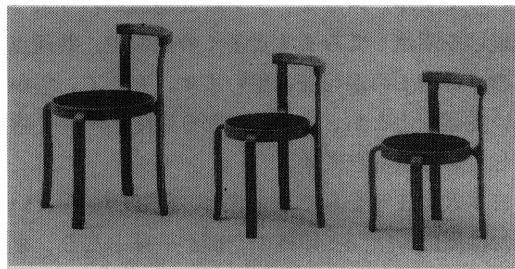
スウェーデンは有名な家具デザイナーを多く輩出していますが、彼等には機能、材質についての十分な追及、知識があり、彼等のデザインによる家具はそれらに裏付けられています。

スウェーデンのもっとも著名なデザイナーとして知られているカール・マルムステンはいくつかの学校も起こし、自身偉大なる教育者でした。彼はスウェーデンの田舎の色を好み、金色に輝くカバ、太陽の光に反射したマツなどのイメージを好

んで使いました。

ブルーノ・マッソーはモダニストの中の古典派で、50年にわたってさまざまな側面をみせてきた世界で最も著名なスウェーデンのデザイナーです。クールで優雅な色合と優雅な曲げ木を使っています。人間工学についても良く考え、優雅さと機能を合わせたデザインです。

未来志向のデザイナーもいました。初期の機能主義というパウハウス派が著名です。若きデザ



子供用にデザインされたイス

イナーたちは独自に新しい方向を示唆しております。しかし、それらの作品を見てみると伝統的なスウェーデン家具の質の高さを感じさせます。

家具デザイナーの養成所ですが、ストックホルムとヨーテボリに2つの大学があります。芸術工芸デザイン大学です。しかし、そういった大学を卒業していなくても、たたき上げで成功した指し物師もいます。

スウェーデンの家具の特徴を一言でいうなら、エレガントな形とともに十分な機能性をもっていると言えます。

最後に私の前任者のイリック・ペグラント先生の言葉「品質は知識とフィーリングから誕生するものです。」を借りて締めくくりたいと思います。

(文責 藤本)